

みんなの力で成功させよう!

第54回支部定期大会

- とき 4月19日(日)
- ところ 全理連会館
(JR代々木駅前)



編集・発行人

東京土建一般労働組合新宿支部
新宿区北新宿4-33-9 新建ビル
電話03(3362)2161 FAX03(3362)2289
http://www.doken-shinjuku.jp/
E-mail: info@doken-shinjuku.jp

定価 1部 50円(購読料は)



横断幕にプラカードを掲げ練歩き宣伝に出発する仲間

みんなの新宿をつくる会

派遣切りを許すな!
世直し練歩き宣伝

新宿駅東口で労働・生活相談

みんなの新宿をつくる会「2・21世直し・新宿練り歩き宣伝行動」、2月21日集合場所の戸山ハイツ生協横の公園に70人が集り、2コースに分かれ新宿駅東口アルタ前まで練り歩き、プラカードをかけた、ハンドマイクで道ゆく人々にアピールしました。また、東口では、チラシを配り、労働・生活相談を行いました。

出発集合では、みんなの新宿をつくる会の小見山猛会長が「派遣切りや失業が大問題、大いに訴えよう」とあいさつ。「大企業の内

部留保の1%で40万人の雇用」「区労連」「商売したくても仕事がない」「民商」「保育園に入れない待機児童が増えている」「新婦人」「派



東口の労働・生活相談

新宿駅東口は、土曜日の午後、若い人がいっぱい。通行人も多い中、年配の人がチラシを受けとっていました。【K】



乳幼児をかかえ切実に訴える

待機児童なくして!
乳幼児をかかえ訴える

新宿社保協が対区交渉

「待機児童をなくして」「空き施設の活用を」「候補地リストの検討を」など乳幼児をかかえた若いお母さんたちが、待機児童解消を求め次々と訴えます。

1月16日、新宿社保協が保育問題で対区交渉。「待機児童をなくそう会」のお母さん達など18人が参加しました。

新宿区の待機児童は、2月現在、0歳児164人など236人。保育課長は、対策として、受入れ枠の拡大①信濃町分園と民設民営(21年度)の開園②認証保育園の拡大③空き教室の活用は文京区の例もあり検討④認可は土地をさがしている」と回答しました。

このままでは21年度を迎えても待機児童の解消は望めず、緊急かつ抜本的な対策が求められています。【K】

政治の流れを
本気で変えよう

深刻な不況の影響をもっとも受けているのが建設業といわれています。関連の不動産業界がマンションの売れ行き不振で大型倒産も起きます。今後進大手のゼネコンの倒産こそ予想されるなど、今でも深刻な仕事不足と苦しい生活が、これまで経験したことがないほど厳しくなると思われます。

組合に対する期待は、厳しさが増せば増すほど高まるのは当然であり、組織のあり方や運動についても真価が試されています。今年の第54回大会では、

組織の力と要求運動の前進で
第54回大会を成功させよう

書記長・戸塚真人

が持てない社会になっていくからです。

中期展望を
提起する

大会では、組織と運動を進める上で「中期展望」と

けた第一歩となる大会と位置づけました。

今提起されている課題や運動は、将来に繋がるものです。「長期優良住宅等の事業の推進」が、不況で苦しむ仲間にとって一助となる。

り、事業の進捗も100%の成功をおさめています。

第一歩を
踏み出そう

支部大会に向け残されている課題や運動は、春一番拡大と分総会の成功です。拡大運動の成功は私たちの力の源です。是非成功させましょう。分総会を成功させることも大切な課題です。組織を支えるしっかりした体制の確立なしにはどんな方針も絵に描いた餅になってしまいます。

この二つの課題を成功させる力では「第一歩を踏み出すこと」ではないでしょうか。

とめ山

2月16日の朝日新聞一面に「沖縄の米海兵隊のグアム移転を巡り、09年度政府予算案に計上された日本側負担346億円のうち202億がグアム島の米海兵隊の基地整備にあてられる」と報じられましたが、この金は「沖縄海兵隊のグアム移転に限定する」とのことでした。

海兵隊の移転費用を負担するだけでもおかしいのに他国の、しかも国外の基地を整備する費用に税金を使う国は、古今東西かつてないことでしょう。

先日、1割首相の麻生さんが訪米し、オバマ大統領と会見し、「世界経済第一と第二が協力する」と鼻高々で帰国しましたが、結局オバマ大統領も日本に対する政策は「チェンジ」することなく、ますます日本への協力要請を強め、麻生内閣はアメリカハシッポを振り続けるのでしょうか。

その後の朝日新聞に「米軍への予算弱者に向けて」として「不当に解雇されて路頭に迷う人々、生活苦の母子家庭など弱者に思いやりの予算をと願いつつ、国民の多くが納税している」と76歳婦人からの投書が載りました。

派遣切りなどが、今年の3月には約40万人に達し、新卒者の1500人以上が内定取消になるといいます。町を歩いても、長年続けてきた店が閉り、にぎわいもなくなってきました。一日も早くこの政治を「チェンジ」して、庶民のための政治を。

【M】

余丁町・住吉町分会

合併へ先陣を切る!

— 分会總會へ向け新体制確立 —

分会再編



回を重ね、新体制の確認も和やかに

余丁町分会財政部長で支部の委員長でもある田村さんら「両分会とも滞納ゼロ分会だ」と、群の編成はなすべく現在のままで行きたい」との提案があり、群の編成を要する、現在の体制で行くことになりまし。

役員については、分会長は川村さん(住吉町)、副分会長は古川さん(余丁町)、書記長には衣川さん(余丁町)を総会に提案することになりました。

名称については、余丁町分会にするか、新余丁町分会か、余丁町住吉町分会にするか、これから検討していく

組織再編で分会合併の先陣を切る余丁町分会と住吉町分会の話し合いが、2月16日の夜、若松地域センターで行われ、13人が参加、総会に向けた体制案など決めました。

昨年の支部大会で再編先行グループと決定して以来、話し合いを積み重ね、今回が5回目。「合併で人数が増えればよい大変になるのでは」などの不安や

同じ問題や悩みをかかえる中で、新体制での克服をめざし、合併へこぎつけたものです。

群の編成は変えず

余丁町分会財政部長で支部の委員長でもある田村さんら「両分会とも滞納ゼロ分会だ」と、群の編成はなすべく現在のままで行きたい」との提案があり、群の編成を要する、現在の体制で行くことになりまし。

分会再編の手法に

同じ地域に暮らして、毎日のように顔を合せているとはいえず、互いの分会は、それぞれ50年近い歴史があり運営の仕方も違いがある中で分会合併は、これから先大変な困難があると思います。

余丁町・住吉町分会の合併を成功させ、支部の組織に活力を与え、今後の分会再編の手法となるよう努力して欲しいと思います。

【取材・大野 守】

新保険証の交付と諸注意について

4月から新保険証

4月1日から保険証が新しく切り替えになります。現在お持ちの保険証は3月いっぱいまで使えます。

「受診券」が

いっしょに交付

今年、新保険証といっしょに、新年度の健康診査「受診券」が交付されます。

今月の群会議へは印か

んを各持参ください。新保険証は交換した日から使用できます。

なお、新しい保険証は、4月分までの組合費・保険料を納めた方に交付されます。滞納している(納入が遅れている)組合員の新保険証は、昨年と同様に支部事務所で預かってあります。納入の際に群長にご相談ください。

3月中旬に家族の減や住所の変更がある方へ

新旧の保険証が必要になるなど、通常の手続きと異なります。必ず支部へ電話連絡の上、手続きをお願いします。

TEL. 03-3362-2161
担当・泉

厚文だより

映画「日本の青空Ⅱ ~いのちの山河」

— 制作に全面協力 —

どげん共済会は、10周年の記念事業として、映画「日本の青空Ⅱ ~いのちの山河」を全面的に協力することになりました。

前回の「日本の青空」は

投稿 憲法のはなし⑪

海外派兵の口実

ソマリア沖海賊対策で、1月28日に自衛隊派遣方針を決定した。日本の人間や船舶だけでなく、外国人や船舶に拡大して武器の使用を正当化し、緊急避難に限定せずに使うとした。それともと海賊行為の取り締まりは警察組織である海上保安庁の仕事であり、文界難を逃げる北朝鮮のスパイ船を沈める力を持つている海上保安庁の巡視艇を派遣すれば対応できるはずだ。麻生内

閣は「海賊対策」を絶好の口実として、自衛隊の海外における武力行使と集団的自衛権に深く踏み込み、憲法9条の改憲をもくろむ重大な段階に進もうとしている。ソマリアは自然災害や内戦で無政府状態。こちらの方に日本としても援助の手をさしやるべきで、自衛隊派遣は、いつでもアメリカと共に外国に兵を出せる海外派兵恒久法をねらっているに外ならない。

【M】

恒例 新宿支部 お花見

- とき 3月29日(日) 午前10時30分～
- ところ 新宿御苑 (小雨決行・大雨中止)
- 集合場所 御苑入口(大木戸門) ※四谷地域センターが目印

※交通費として1000円支給
入園料は支部負担
※飲食物・シート・ごみ袋は各自持参

厚生文化部：和田

憲法9条を扱った内容でしたが、今回は、現在の格差社会、貧困、戦争など、いのちのさまざまな問題を考えるとき、今一度憲法25条の精神を問い直し、生かしていこうというテーマで制作がすすんでいます。

主演の長谷川初範さんはじめ豪華キャストに加え、完成は5月の予定。どうぞご期待ください。

土建国保

都外居住者は引き下げ

保険料は据え置き

国と都の補助金は満額 確したものの、高齢者となりまし。また、都の医療制度負担が増加、外居住者は、補助金の実一世代752円の歳入不足ですが、積立金を取り(第5種は100円)の引き下げです。

崩し、土建国保・介護保

09年度 国保料

	都 外	
	都 内	保 険 料
法人A種	28,200円	31,200円
法人B種	26,500円	29,500円
法人C種	21,800円	24,800円
第1種	22,800円	25,800円
第2種	17,800円	20,800円
第3種	14,300円	17,300円
第4種	11,800円	14,800円
第5種	9,000円	10,200円
成人男性		9,000円
一 般		3,900円
幼 児		1,800円

投 稿

改革は超党派で
— 支援が当り前の社会を —

医療・介護・年金などの社会保障制度が今、崩れ落ちようとしている。高齢者が長寿の文字に相応しい老後を送り、家族もそれを穏やかに見守る事ができなければ、若い人達も将来に夢を持つ事ができないのではないかと思ふ。今、国民が国会に求めているのはパフーマンスではない。自民党が、責任政党を標榜するだけなく、特に社会保障問題は、各層、各党、何よりも各政党が知恵を出し合うべきだ。野党も本気で政権を目指すのならば、耳に心地よい漠然とした公約ではなく、現実的で精緻な政策を

練ってもらいたい。いずれにせよ社会保障問題は、政治が超党派で取り組まなければ前へは進まない。与野党が同じテーブルについて議論すべきと思う。政局優先の対応は国民の信頼を損うだけではないかと思ふが……。とりわけ医師不足をほじめとするさまざまな問題が噴き出している。医療・介護制度の改革は緊急を要する。直ちに動き出す事を提言したい。

そして、実際介護が必要となる人達に、行政などの手厚い支援が当り前の社会が到来する事を切に願わずにはいられない。

【北新宿・笠原 進】

今地域では

新宿区労連・新宿一般

貧困と格差是正の09春闘に

大企業の派遣切りに「年越し派遣村」などから反響が始まっています。しかし年度末の3月までに、さらに大量の失業者が出る言われる中、地域から「09春闘をいかに闘うか」新宿区労連事務局長で新宿一般労組書記長の屋代眞さんにお話を伺いました。



仕事よこせ・なくせ貧困

2・13春闘決起集会

今必要なのは、政治を変えること



新宿区は大企業の製造業

経済悪化の影響広がる

「労働者派遣法などなんでもつくったのか、強い怒りを覚える」と屋代さん。派遣切りなどで相談は毎日のように。こんなことは区労連の専従になっても20年だが、今までになかったこと。いづもは年間50〜60件が、年末から1月まで30件位。2月も毎日1〜2件電話がかかってくるという。

2月13日、国土交通省、厚生労働省、経済産業省を包囲し、個人請願行動後、日比谷野外音楽堂で建設労働者春闘総決起集会、4300人の仲間と共に新宿支部からも26人が参加しました。

今世界同時不況、百年に一度といわれる経済危機のもとで、日本の雇用情勢も急速に悪化しています。

「建設業者も倒産件数が過去最悪のペースで進み、仲間の自殺、派遣労働者切捨てなど失業者が増加、なんとか生活している人達も預金を崩し、食費や教育費の切り詰め、苦勞し、これ以上は無理という人達多いです」

「ばいばい」のとなない報告でした。

今必要なのは、政治を生活着型に根本的に変えることだと思えました。

集会後は国会へ向けてデモ行進、衆・参議員会会所前では労働条件向上、アスベスト被害の根絶と補償、安心安全の建設産業の実現を求める請願書を手渡ししました。

デモ行進が出る待ち時間を、千葉、埼玉土建の主婦の会がヨサコイ踊りを、東京土建主婦の会が山寺和尚さん、麻生内閣冬景色の替え歌で会場を盛り上げました。

【教宣部・川辺せつ子】

特製ノボリと屋代眞さん

申請をすすめ、食べ物やお金を渡し車送って渡した。他に建設会社やサービス産業などでもリストアップなどの相談があり、経済悪化の影響が広がっています。それだけ

新宿には3万5千もの事業所があり55万人が働いている。そこで地域の労働団体のなかで地域を意識し「まちかど労働相談・悩みごと無料」など独自のノボリをつくり、土・日に毎回20人位で宣伝。また「お帰りなさい宣伝」は夜の9時から。これは仲間から「タ方ではなく残業でクタクタになって帰る人達にふけよう」との意見で始まった。実際にやるのは大変ですが、今までも加入できる労働組合11新宿一般を結成して9年。今は相談のたびに組合員の拡大につながっていますが、相談にきた人たちは「労働組合は正社員で

地域を意識して

に、09年は貧困と格差是正の春闘であり、労働運動出番の時です。



国産木材活用の耐震セミナーで報告する伊藤賢司産対部長（1月24日）

新宿区協

新耐震

助成活用で改修促進を

2度の講習会で業者登録

いつ発生してもおかしくない巨大地震から区民の生命と財産を守る「地震に強いまちづくり」を目的として新宿区耐震補強推進協議会が発足して一年が経過しました。昨年は、2度の講習会で業者登録を進め、また、イベント等を通じ、耐震助成事業の啓蒙活動に取り組まれました。

日本が地震大国で、大きな地震が必ず来ることは日本人であれば誰でも知っていることですが、一方で「自分が生きている間は来ないだろう」との楽観が心のどこかに潜んでいます。この取組みではいかにして区民に耐震補強の必要性を広めるかがカギとされています。ぜひご意見を寄せ頂き、耐震改修促進にご協力をお願いいたします。

【担当書記・相田太郎】

技術基盤強化の助成事業

連日の調査相談活動

仕事確保運動へ展望



訪問調査をする組合員

今日の大恐慌を受け、全建設連の「建設職人の仕事とくらしを守れ」の声を国交省が応え、総額10億円の助成を獲得しました。この助成金を活用して、短期集中型で地域調査や住宅相談に絡めたアンケート

視野を広げ社会的役割を

区労連に相談していると、言っただけで解雇が撤回されたなど労働組合が力を発揮。1月27日に新宿区へ緊急雇用対策を申し入れたところ、さっそく具体化がはじまり、情勢が大きく変動しています。

話題は、アメリカ経済からヨーロッパ・韓国の労働運動まで及び、国際情勢が一人ひとりの生活・労働に影響する時代。いま、労働組合は自らの要求だけでなく、視野を広げて社会的役割をどう果たすのか。新宿では「みんなの新宿をつくる会」の行動が非常に大事だと結びました。

【取材・熊田】



大野部長と川辺せつ子さん

本部機関紙コンクール

「しんじゆく」が入選

2月28日、本部機関紙コンクール表彰式・交流会が行われ、大野部長はじめ4人が参加しました。

前段で「週刊金曜日」編集長の北村肇さんが「オバマ政権の光と影」と題して講演があり、日本の麻生首相と比べればオバマ大統領は大いに期待できるとマスコミが持ち上げているが、

な地震が必ず来ることは日本人であれば誰でも知っていることですが、一方で「自分が生きている間は来ないだろう」との楽観が心のどこかに潜んでいます。この取組みではいかにして区民に耐震補強の必要性を広めるかがカギとされています。ぜひご意見を寄せ頂き、耐震改修促進にご協力をお願いいたします。

【担当書記・相田太郎】

などが取組まれました。

分会では取組みを進めるなかで、普段顔を见せない仲間、声をかけたり、事業所訪問・組合員訪問と結びつけるなど、工夫が見受けられました。また、本部・支部を会場に「連日」の住宅相談が功を奏し、包丁砥ぎ・まな板削りがなくなるとも住宅相談が寄せられるなど、仕事確保運動としても興味深いデータが得られました。

今回得られた教訓をバネにして、仕事対策部はますますの発展を目指します。

【担当書記・相田太郎】

実際はファシストであり「平和主義者」ではないことなどイラクからの撤退の実態や大半が傭兵であることと70兆円もの軍事費のため日本に国債を売りつけようとしているなど、その危険性について話されました。

コンクールでは、支部機関紙入選、川辺せつ子さんが記事賞に。また、分会新聞コンクールでは、主婦の会の「こんにちば」と青年部の「新青よあけ」が優秀賞を受賞しました。

【K】



7つのマチガイ

【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？(作・野上和彦)



- 絵を一枚きりとり、ハガキに貼って、まちがい箇所を丸印で示し、支部まで送ってください。分会・住所・氏名を(家族の方は組合員の氏名も)書いて下さい。余白には新聞の感想や身近なできごとを必ず添えてください。
- 短先下欄 0074 新宿区北新宿4-33-9 東京土建新宿支部 人に図書券プレゼント。
- 正解者の中から抽選で10人に図書券プレゼント。
- しめ切り 3月25日

応募のしるし

野丁場、新丁場の味方

「PAL新宿」結成

運動・役割への理解深める



本部黒木会長の報告をきく

【書記次長・高橋美】

本部PALの会会長黒木さんを始め、担当役員の松森さんや書記の溜口さんらも参加され、PALの運動や役割についての理解を深めることができました。

2月21日、支部4階会議室で、野丁場、新丁場で働く仲間の交流会(兼)総会が行なわれ、18人が参加しました。会議には「PALとはなんぞや?」というところで分会の役員さんにも参加していただきました。交流会を兼ねた総会は、軽食をしながらのなごやかな雰囲気の中で進められました。

会長に落合東分会の増田欣也さん、副会長に大久保分会の武田武さんを選出しました。会の名称としては、「PAL新宿」をみんなで確認しました。

【落合東9群】10億円事業の件話題になりました。あまりに急で皆さん無言。大工・工務店に携わる人だけで各職には無関係な感じ、役員に出てもらえない様依頼、7群より1人有望な方をみつけ、これからどうアタックするか?/時期的に申告についての話題も出ました。その方、白色で今期はなんと自分だけでやってみると言っていました。

【大久保5群】2月の声を聞くと、いやな季節だなあと思つてます。花粉症で長年苦しんでいます。暖かくなるのはうれしいけれど、これから何年苦しむのか、これから家族で話しています。

【北新宿4群】友好団体等の支援も結構だが、不況により生活も思うようにいかず、困窮している組合員が身近に大勢いる事も考えてはしい。毎月組合員の脱退者が出ています。若い人なら次の仕事もなんとかなるが、年配者は動き口がま

群会議の声から

2月



一番が吹いたが、また寒さが戻った。そんな中、小泉元首相の発言や財務大臣の失態……。とすぐに辞任!! 笑ひも起きない出来事はあり。そんな中、GDP(国内総生産)が戦後2番目のマイナス。本当の春は来るのだろうか?!

【牛込東全群合同】火災警報器の無料(組合でまと

めて買った品)で、取付けたら、今後が不安でどうしたらよいなどの相談が群会議の中で出ました。良い考えがありましたら教えてください。

おたより 身近なできごと



◆そろそろ桜の季節です。今年はこへ花見に行こうかな?花の命は短いけれども、もう春の声。一度しかない人生、無駄のない生活を送らねば……。

【落合東・東山 連子】「わたしのたからもの」のんびり温泉」群会議の声からがよかったです。

◆段々と暖かくなってきた

【牛込・飯 由紀子】春一番が吹いて冬桜が咲いた便りも届き、ルン・ルン春がくるのが楽しみです。政府も国民に春が来るような政治をしてほしいね。

【余丁町・田村 ルリ子】毎年冬にインフルエンザ

支部教宣学校開く

取材のし方、記事の書き方学ぶ

2月15日、支部教宣学校が支部会議室で行われ、8人が参加、「取材の仕方、記事の書き方」についてじっくり学んだあと、仲間の「ふるさと自慢」を語ってもらい、記事を書き上げました。

部長の開校あいさつのあと「取材と記事に自信がつかない」という声が出た。一人ひとり、発表してもらった。皆、なかなかの名文?。短かい行数でも一人称スタイルや人物紹介などの形式で、少し自信がついたと思います。

【K】



記事書きに集中する

【K】

無料法律相談

日程

3月	19日(木)
4月	20日(月)
5月	20日(水)
6月	19日(金)
7月	21日(火)
(8月は休み)	
9月	18日(金)
10月	20日(火)
11月	20日(金)
12月	18日(金)



志村弁護士

顧問弁護士による相談
時間は午後1時30分~4時
☎03-3362-2161

予約制

原稿募集

1 ふるさと自慢
●本文 12字×30~40行
●写真 顔写真・他

2 わたしのたからもの
●本文 12字×30行程度
●写真 顔写真 たからものの写真

3 地球温暖化を考える
私の考え、私のとりくみ
●本文 12字×30~40行
●写真 本文に関するもの・他

■教宣部担当 熊田 TEL.03-3362-2161